

中国のA V機器・家電製品市場調査を実施

北京オリンピック開催の2008年には中国国内で販売されるテレビの4台に1台が薄型テレビに

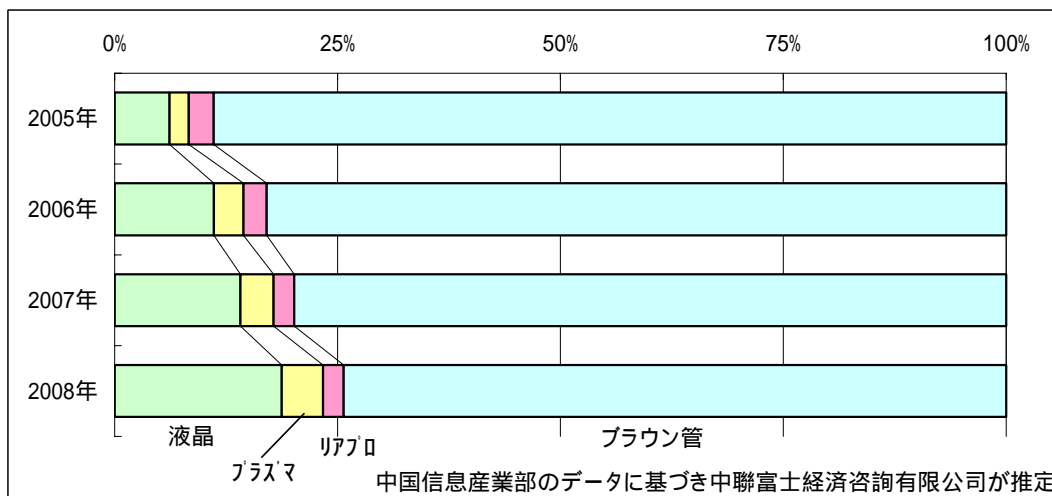
総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、このほど中国のA V機器、家電製品の生産、販売、部品供給状況などの調査を実施した。その結果を調査報告書「2006年 中国電子機器産業・市場の展望(上巻)A V機器・電化機器編」にまとめた。

< 調査結果の概要 >

1. 中国のカラーテレビ国内市場

中国のテレビ市場はすでに成熟市場で、特にブラウン管テレビ市場は縮小を続けており、2005年は、2004年の4,800万台から3,700万台強へと大幅に落ち込み、カラーテレビトータルでも前年比16%減の4,210万台の市場となった。一方、液晶テレビとプラズマテレビは2005年に本格的に市場が形成され両者で350万台に達している。今後は液晶及びプラズマテレビが拡大し、ブラウン管テレビが縮小、リアプロが100万台程度で推移し、トータルでは4,200万~4,300万台程度で推移するとみられる。北京オリンピックに向けて高画質大画面で競技をみたいという欲求が強くなり、液晶やプラズマテレビの需要が拡大している。また、販売価格の低下も消費を後押ししている。2005年は液晶とプラズマテレビを合わせてもまだ8%程度にすぎないが、北京オリンピックが開催される2008年には24%と4台に1台は薄型テレビが占めると予測される。

国内カラーテレビ出荷ウエイト(2006年は見込、2007年以降は予測)



2. 生産動向

A V機器で最も生産規模が大きいのはDVDプレイヤーで、2005年は前年比10%増の1億5,785万台となった。今後は、DVDレコーダー需要の増加によるプレイヤー需要の減少、高額の特許料支払い、次世代DVDの登場、厳しい品質要求などから輸出が減少していくとみられ徐々に生産規模は縮小していく。次に規模が大きいカラーテレビは、メインのブラウン管が微減推移しリアプロも減少しているものの、液晶テレビが2005年から6倍以上に、2006年も倍増しており、またプラズマテレビも増加し、カラーテレビトータルでは2007年、2008年と年率2%程度で増加していくとみられる。携帯プレイヤーは台湾企業の中国での生産と台湾企業からのOEMが増加しており、また、韓国メーカーも生産拠点を中国に移しており、2006年の生産台数は5千万台を超えるとみられる。

家電製品では、エアコン、電子レンジをはじめ輸出が比較的好調で生産台数が増加している。洗濯機、冷蔵庫は国内需要が好調で2005年の国内向け生産は2桁増となった。今後もこの傾向は続くと思われる。

輸出のウエイトが高いのは、テレビとホームシアター機器以外のA V機器と電子レンジである。DVDレコーダー・プレイヤー、携帯プレイヤー、電子レンジの輸出ウエイトが80%を超えている。世界の生産基地としての中国は健在である。一方、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機などの一般家庭の必需品と言えるものは国内向けがす

で50%を超えているが、年々輸出が増えている。

### 3. 中国国内市場

AV機器では、カラーテレビに次いで出荷台数が多いのはDVDプレーヤーで、2005年は前年比14%増となり1,800万台を超えた。DVDレコーダーが徐々に増加していくことから、今後据置型は減少するが携帯型、自動車用などが増加することで微増推移とみられる。中国の自動車の販売台数の増加とともにカーオーディオの需要も増加している。自動車メーカー向けの販売が90%を占めている。今後はCD製品からGPS機能付きのDVD製品へと移行していくとみられる。携帯プレーヤーは家電販売店への展開や低価格化によりにより市場を拡大している。今後も価格低下が続くとみられ、大容量製品と映像機能付きの製品が増加していく。

家電製品のなかで、エアコンは都市部では成熟市場となっているが、農村部や内陸部への普及が進むことにより今後も横ばいで推移する。冷蔵庫と洗濯機が成長しており、冷蔵庫は生活水準の向上にともない大型の需要が増加し、洗濯機は全自動洗濯機、特にドラム式が市場を牽引し今後も成長を続けていく。電子レンジは都市部ではある程度行き渡ったことから市場は減少傾向にある。

#### 調査対象

分野	品目	種類	主要部品ユニット動向
AV機器	カラーTV(全体)	プラズマ管、液晶、プラズマ、リアプロ	TVチューナー
	液晶TV	20未満、21-24、25-29、30以上インチ	LCDモジュール
	プラズマTV	42、52、60以上インチ	PDPモジュール
	リアプロジェクションTV	42、50、60、70以上インチ CRT、LCD、DLP、LCOS	リアプロTVエンジン
	セットトップボックス	デジタル、アナログ ケーブル、地上波デジタル、衛星放送	
	DVDプレーヤー	据置型、携帯型、ミニコンボ	光ピックアップ、ディスクメカニズム
	DVDレコーダー	据置型、据置HDD型、携帯型、ミニコンボ	光ピックアップ、ディスクメカニズム
	携帯デジタルメディアプレーヤー	オーディオ、メディアプレーヤー フラッシュ、HDDタイプ	
	ホームシアターシステム		
	カーオーディオ	純正、アフターセット、CD、DVD式	
家電製品	エアコン	セパレート型、ウインド型、パッケージ型 インバータ式、非インバータ式	エアコンコンプレッサ
	冷蔵庫	冷蔵庫、冷凍冷蔵庫	冷蔵庫コンプレッサ
	洗濯機	全自動型(パルセーター、ドラム)、普通型	洗濯機モーター
	電子レンジ	オープン機能付、オープン機能なし	マグネトロン

#### 調査方法

関係各機関の統計・推定を基に中聯富士経済咨询有限公司調査員による主要企業への取材

#### 調査期間

2006年5月～2006年7月

以上

資料タイトル:「2006年 中国電子機器産業・市場の展望(上巻)AV機器・電化機器編」  
 体 裁 : A4判 241頁  
 価 格 : 100,000円(税込み105,000円)  
 調査・編集 : 富士経済 東京マーケティング本部 第四事業部 海外開発グループ  
 TEL:03-3664-5821(代) FAX:03-3661-9514  
 発 行 所 : 株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル  
 TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail: info@fuji-keizai.co.jp  
 この情報はホームページでもご覧いただけます。URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
 URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>